

静岡県環境放射能測定技術会（令和6年度第1回）会議録

1 開催日・場所等

日時	令和6年6月21日（金）午後1時30分から2時40分まで
方法	静岡県庁 別館5階 東会議室
出席者	構成員：滝危機管理監代理兼危機管理部部長代理ほか15名
議事	議事 (1) 浜岡原子力発電所周辺環境放射能調査結果第201号（案） (2) 浜岡原子力発電所周辺環境放射能調査解説資料（案） (3) 静岡原子力だより201号（案） 報告 (1) 浜岡原子力発電所の現況
配布資料	資料1 浜岡原子力発電所周辺環境放射能測定結果報告書 （令和6年1月～3月）（静岡県環境放射線監視センター） 資料2 浜岡原子力発電所周辺環境放射能測定結果報告書 （令和6年1月～3月）（中部電力(株)浜岡原子力発電所） 資料3 浜岡原子力発電所の運転状況等（中部電力(株)浜岡原子力発電所） 資料4 浜岡原子力発電所周辺環境放射能調査結果第201号(案) 資料5 浜岡原子力発電所周辺環境放射能調査解説資料（案） 資料6 静岡原子力だより201号（案） 関連資料1 令和6年度静岡県環境放射能測定技術会構成員名簿 関連資料2 令和6年度浜岡原子力発電所周辺環境放射能測定計画 関連資料3 令和6年度の平常の変動幅 中部電力報告資料 浜岡原子力発電所の現況

2 審議事項

- (1) 浜岡原子力発電所周辺環境放射能測定結果報告書
（令和6年1月～3月）
- (2) 浜岡原子力発電所の運転状況等（中部電力(株)浜岡原子力発電所）
測定機関が、資料1（環境放射線監視センター）、資料2・3（中部電力(株)浜岡原子力発電所）により測定結果を報告した。

<質疑応答>

構 成 員：環境試料（キャベツ）のセシウム137の平常の変動幅の上限逸脱について、以前の技術会にて、平成29年から令和元年までは全く検出されておらずその後検出されているのは、キャベツを採取する土壌や場所が違うことによってこのような結果になるのではないか、との回答だったと記憶し

ている。今回、セシウム 137 は、監視センターでは検出されているが中部電力の測定では全く検出されていない。同じ日に、同じような場所で採取していると思うが、このような差が出るのはなぜか。

監視センター：採取地点においては、圃場の場所によって、セシウム 137 の値に違いがあったので、その影響で令和 2 年度以降検出されていることが考えられる。また、御指摘いただいた測定機関によって監視センターでは検出されて、中部電力では検出されなかったことについては、監視センターでは検出下限値が少し低い値になっており、同じ場所等では取っているが多少統計変動等の影響を受けることがあるので、今回監視センターでは検出され、中部電力ではされなかったと考えている。

構 成 員：令和 2 年度から採る場所が変わって、全体的に高く検出されるようになったと思うが、今の説明では、同じ場所から採ってるのに全く検出されないということになる。そうすると、採る場所の問題ではない、と思えてしまう。

監視センター：今回の監視センターの測定では、非常に効率よく測定ができ、検出下限を低く抑えることができたため、検出ありとしてその数値を報告している。震災以前では検出されていなかったが、震災後を含めるとある程度の数字が検出されているため、今回の値は特段有意な数字ではないと考えている。

<審議結果>承認。

(3) 浜岡原子力発電所周辺環境放射能調査結果第 201 号（案）

(4) 浜岡原子力発電所周辺環境放射調査解説資料（案）

事務局が、資料 4 及び 5 により、浜岡原子力発電所周辺環境放射能調査結果第 201 号（案）及び浜岡原子力発電所周辺環境放射調査解説資料（案）を説明した。

<質疑応答>なし。

<審議結果>承認。

(5) 静岡原子力だより第 201 号（案）

事務局（原子力安全対策課）が、資料 6 により、静岡原子力だより 201 号（案）を説明した。

<質疑応答>なし。

<審議結果>承認。

3 報告

(1) 浜岡原子力発電所の現況

中部電力(株)が、中部電力報告資料により、浜岡原子力発電所の現況について説明した。

<質疑応答>なし。

以上